

IoT実装関連の動向等

【回答自治体： 福岡県 】

事業名	福岡県官民データ活用推進計画
実施期間	2019年度から2021年度
概要	<p>地域課題の解決のため、行政情報のオープンデータ化の推進、IoTの活用により、行政の保有する情報と民間の保有するノウハウや技術を結合し、地域の活性化につながる新しいシステムの開発を促すことを記載。</p> <p>(施策の方向性)</p> <p>福岡県IoT推進ラボを核に、IoT製品・サービスの創出や、県内企業のIoT分野への参入を促進する。県内各産業及び県内市町村等に対し、生産性の向上や課題の解決を図る観点から、IoTの利活用を推進する。</p> <p>オープンデータ化を推進し、広く県民や企業に提供することで、データ利活用を促進する。</p> <p><b>指標</b></p> <p>①県がビジネス展開を支援した件数（製品開発支援、ビジネスマッチング支援、市場開拓支援等） 累計11件（2017年度）→累計200件（2021年度）</p> <p>②オープンデータ化されたIoT機器等のセンサーデータ数 1(2018年度)→10(2021年度)</p> <p>(主な取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福岡県IoT推進ラボを核に「ニーズの掘り起し」「ビジネスマッチング」「プロジェクトの推進」「市場開拓支援」「人材育成」の5つの取組みを進め、IoT製品・サービスの創出を促進する。</li> <li>県内各産業の課題解決や生産性の向上を図るため、IoT製品・サービスの普及を図る。</li> <li>市町村等に対して説明会や試用環境の提供などを通じて、IoT製品・サービスの導入を図る。</li> <li>各種計測や実証実験などで得られたセンサーデータのうち、広く利活用することが有効と考えられるものについては、積極的にオープンデータ化を推進する。</li> </ul> <p>【2020年度取組み状況】</p> <p>市町村のICT利活用を促すため、国の補助制度を紹介する説明会を実施。</p>

事業名	IoT関連産業振興事業（福岡県IoT推進ラボの取組み）
実施期間	平成28年7月～
概要	<p>平成28年7月31日、本県が提案したIoTプロジェクトの創出の取組み「福岡IoT推進ラボ」が経済産業省から地方版IoT推進ラボのひとつに選定。この「福岡県IoT推進ラボ」を中心に、①ニーズの掘り起こし、②ビジネスマッチング、③プロジェクトの推進、④普及・展開支援、⑤人材育成など、一貫した支援を行うことで、県内企業によるIoT技術を活用した新たな製品・サービスの創出を促進。</p> <p>これまでの取組みにより、農林水産業、医療福祉、安心・安全など、広範な分野で県内企業による製品化が相次いでおり、23社・35件の「福岡県IoT認定製品」を創出。</p> <p>また、令和元年度IoTリーディングモデル創成事業に採択された「ため池管理システム」（株式会社Braveridge）は、令和2年8月に受注を開始し、今年度中にも複数の自治体が導入する見込み。</p> <p>こうした県内企業による優れた製品の社会実装を加速させるとともに、さらなる製品化事例の創出を促進するため、今年度から、IoT関連製品の量産化に向けた取組みを支援する新規事業を創設。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大により県内企業の経営にも大きな影響が及び中、将来の投資となる製品開発や販路開拓に対する支援を強化。</p> <p>【令和2年度の取組み】</p> <p>(1) IoT関連製品量産化支援事業      &lt;概要&gt; 県内企業が行うIoT関連製品の量産化に向けた設計・試作に対する支援      &lt;補助額&gt; 300万円程度（補助率1/2）      &lt;採択件数&gt; 3件</p> <p>(2) 中小企業・小規模事業者応援補助金      &lt;概要&gt; 新型コロナウイルス感染拡大により前年と比較し売上が15%以上減少した企業を対象に補助率を3/4に引き上げるとともに、採択件数を増やすことで製品開発支援を強化</p> <p>(3) 先端成長産業分野の新製品広報支援事業      &lt;概要&gt; 大型展示会の相次ぐ中止など営業機会が喪失する中、優れたIoT関連製品を有する県内企業の営業活動を支援するため、主要紙を活用した特別広報や、製品PR動画の制作により、ビジネス展開を強力に支援</p>